



2014年2月期 決算説明資料

(2013年3月1日～2014年2月28日)
For the Year Ended February 28,2014

2014年4月8日

株式会社 **UCS**

UCS CO.,LTD.

Listed Company 8787



I 2014年2月期事業概況

(2013/3/1~2014/2/28)

1. 主要数値実績

(単位: 億円、%)

項目	2013年2月期	2014年2月期	前期比	
			増減額	増減比
取扱高 Trading Volume	5,222	5,937	+714	+13.7
営業収益 Operating revenues	167	172	+5	+3.4
営業利益 Operating income	25	33	+8	+32.3
経常利益 Ordinary income	25	33	+8	+32.2
当期純利益 Net income	13	20	+6	+45.4
1株あたり 当期純利益 (円) Net income per share	74.41	108.16	+33.75	+45.4

(数値は億円未満切捨て)

2. 主要財務数値

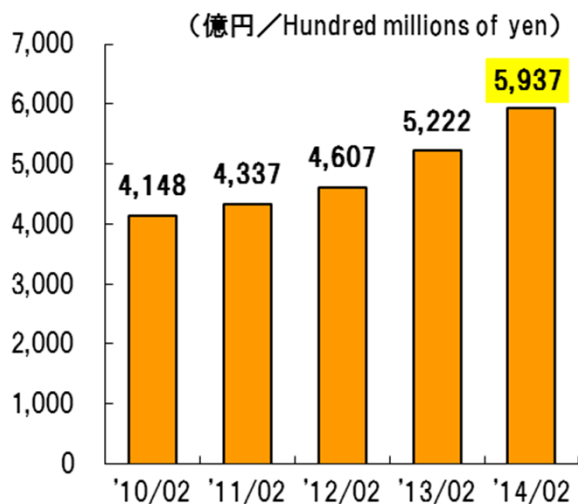
(単位:億円、%)

項目	2013年2月期	2014年2月期	前期末比	
			増減額	増減比
資本金 Common stock	16	16	±0	±0
総資産 Total assets	1,043	1,270	+227	+21.7
純資産 Total shareholders' equity	192	209	+17	+9.1
自己資本比率 Shareholders' equity ratio	18.4	16.5	△1.9	
1株あたり純資産(円) Shareholders' equity per share	1,023.19	1,116.41	+93.22	

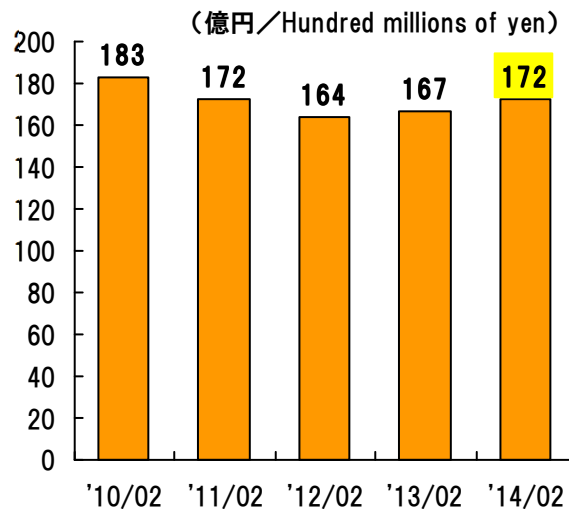
(数値は億円未満切捨て)

3. 財務ハイライト

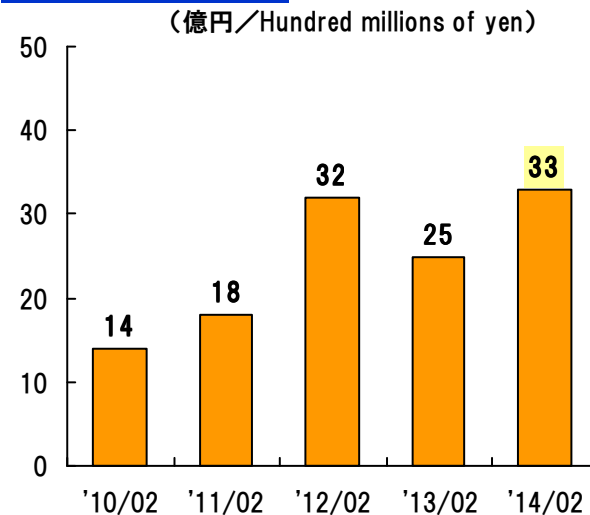
取扱高



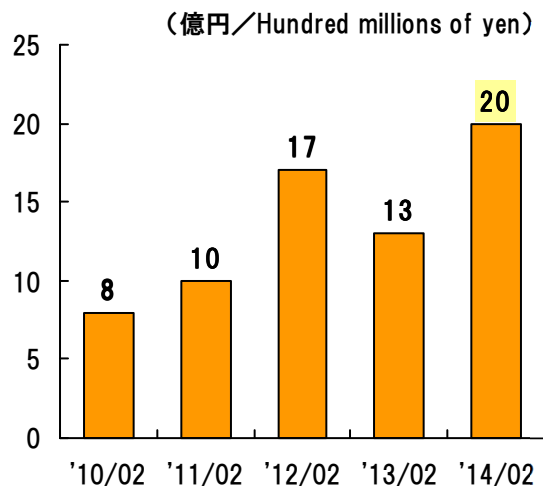
営業収益



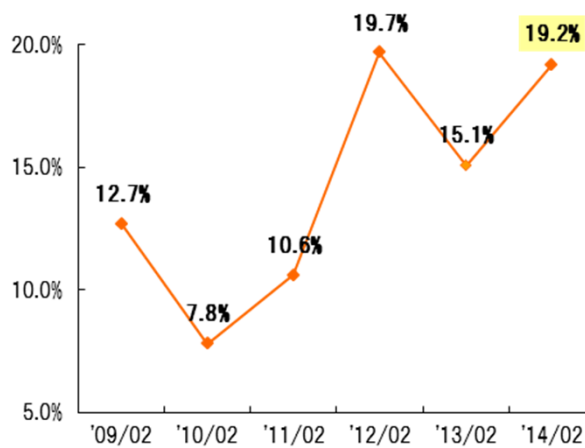
経常利益



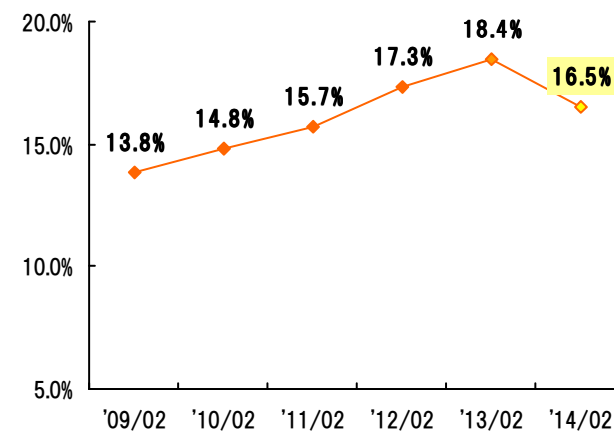
当期純利益



経常利益率



自己資本比率

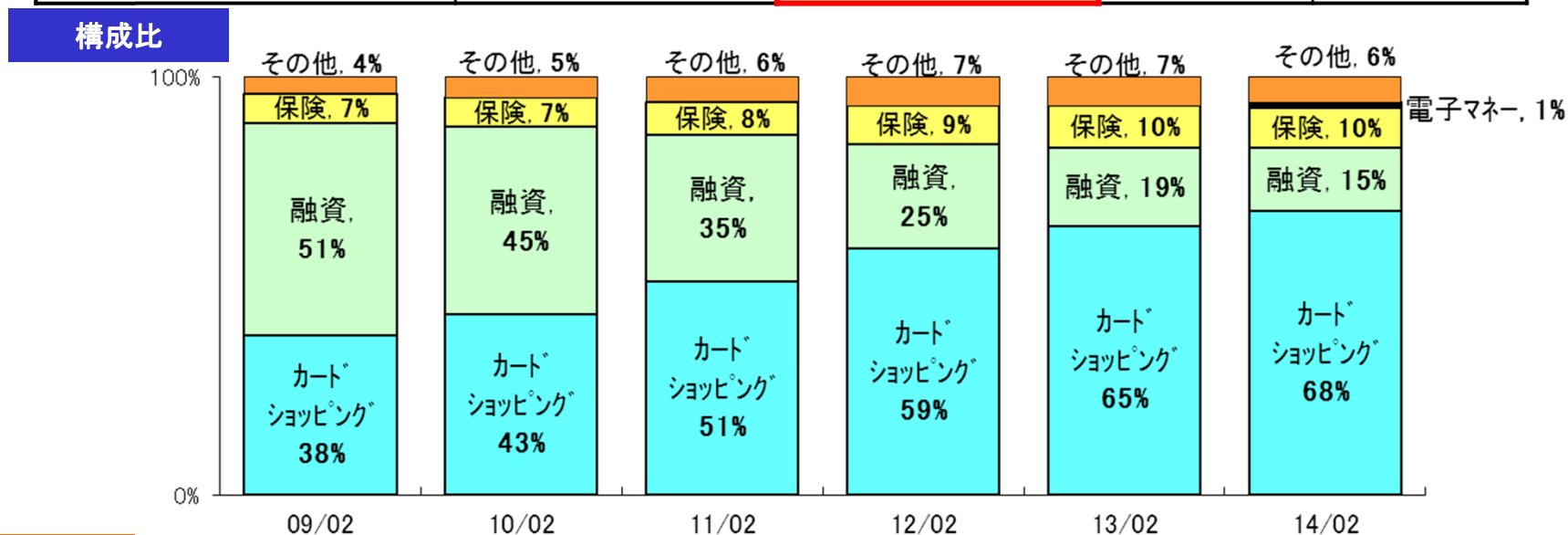


4. 営業収益

● カードショッピングが好調に推移し、2期連続の増収。

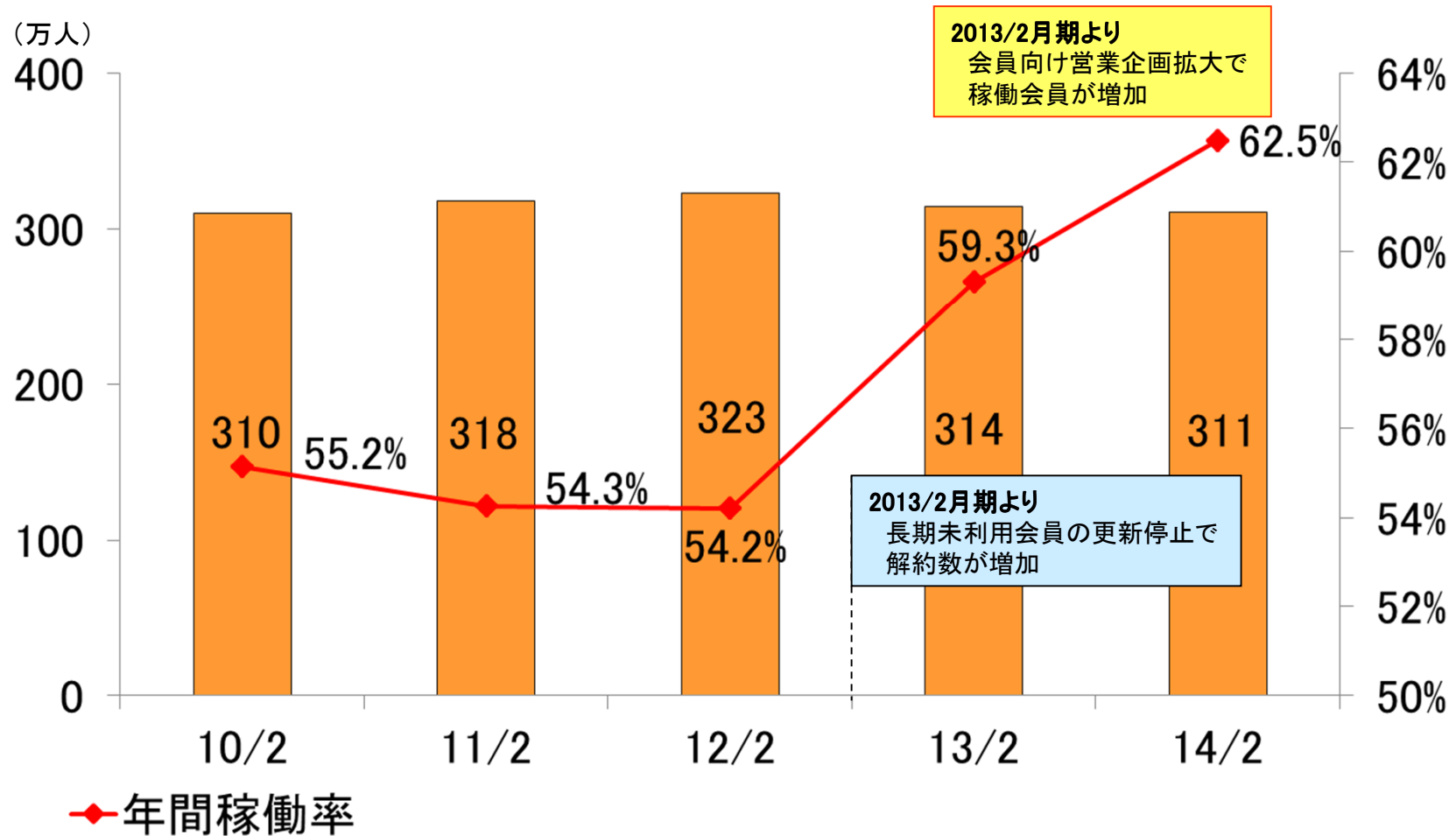
(単位：億円、%)

部門	2013年2月期	2014年2月期	前期比	
			増減額	増減比
カードショッピング	108	117	+9	+8.7
融資	31	25	△5	△16.7
保険	15	16	+0	+4.4
電子マネー	—	2	+2	—
その他	11	10	△1	△10.6
合計	167	172	+5	+3.4



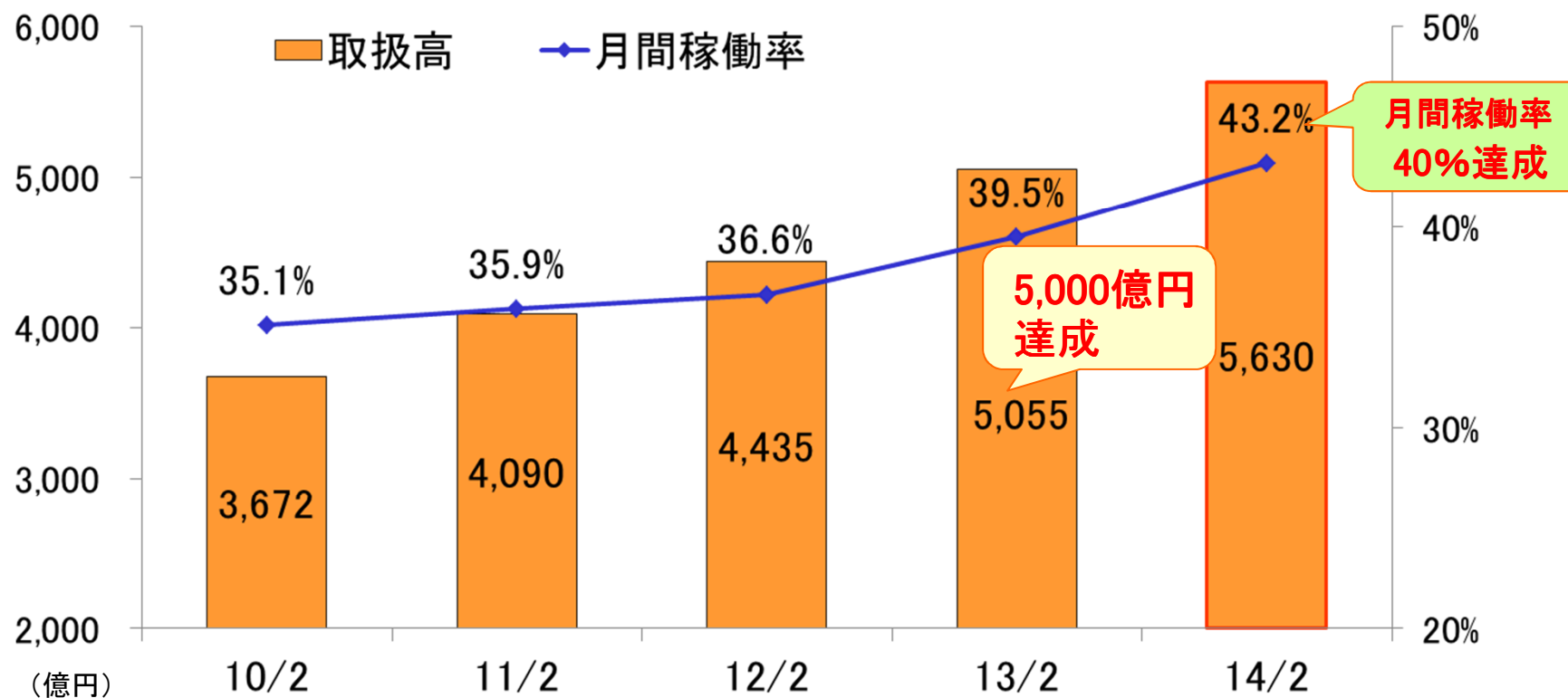
5. クレジットカード会員数

- 期末会員数は、311万人(前期末比△3万人)に減少。
年間稼働率は、62.5%まで上昇。



6. ショッピング取扱高（クレジットカード）

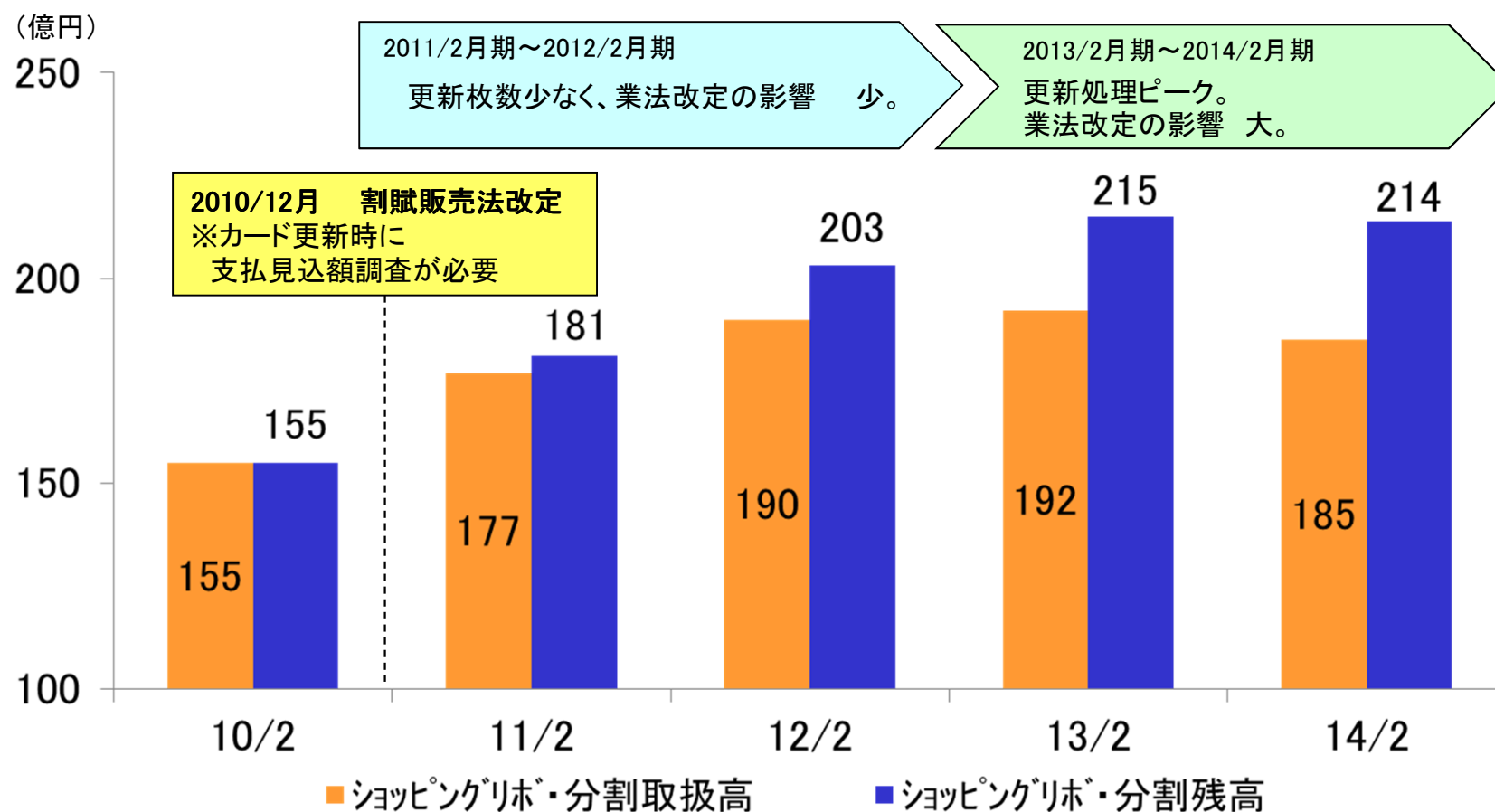
- 稼働率・請求単価が改善し、前期に続き2ケタ伸長（前期比+11.4%）を維持。



請求単価	34,590円	35,167円	36,216円	37,770円	39,405円
増減額	—	+577円	+1,049円	+1,554円	+1,635円

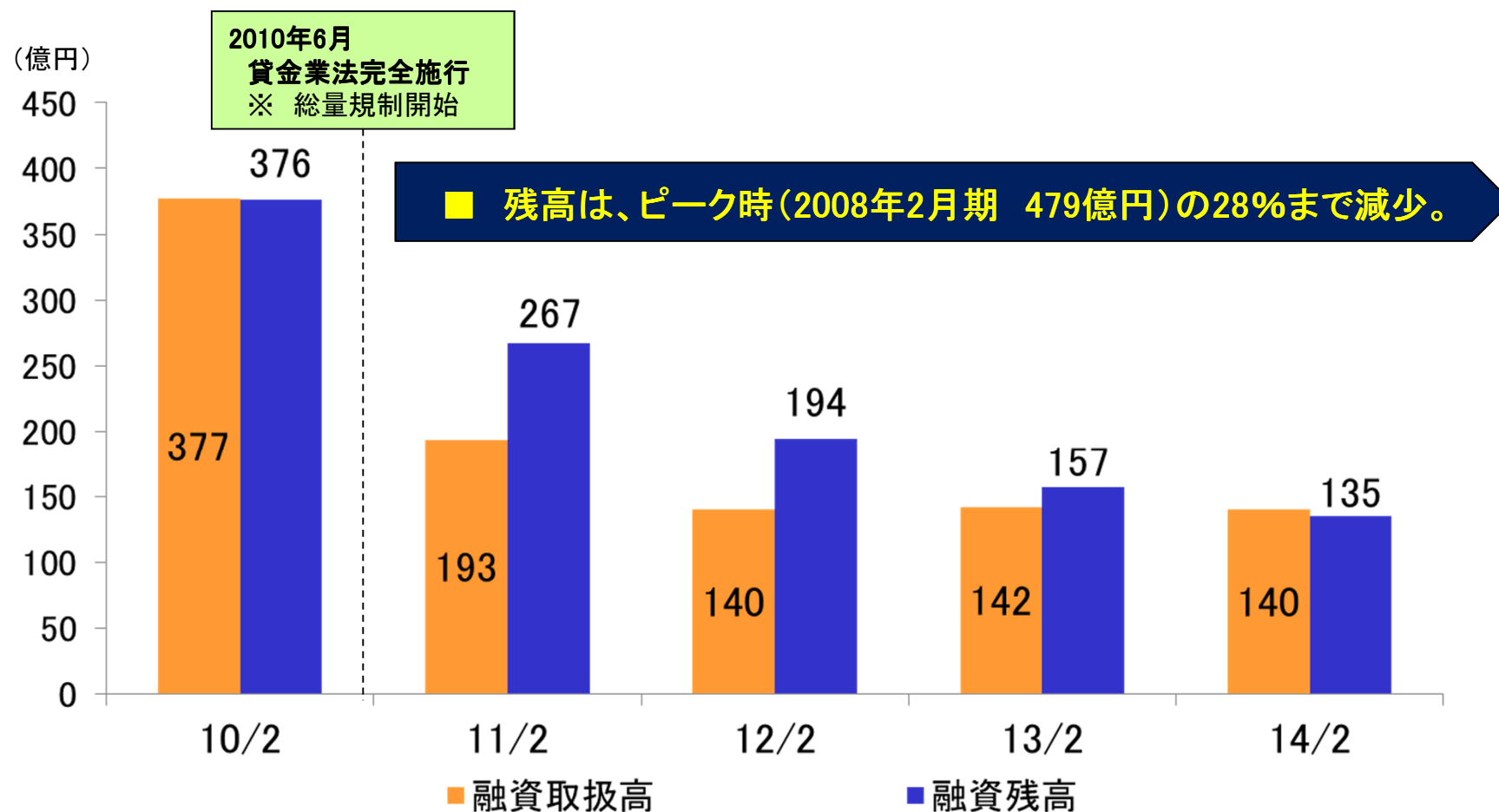
7. ショッピングリボ・分割

- 割賦販売法の影響により、取扱高(前期比 $\Delta 3.6\%$)・残高(期首比 $\Delta 47$ 百万円)ともに減少。



8. 融資

- 貸金業法の影響により、残高の減少(期首比 $\Delta 2,224$ 百万円)が継続。
- 取扱高は、前年並みで推移しており、2015年2月期に底打ちする見通し。



9. 電子マネー「ユニコ」



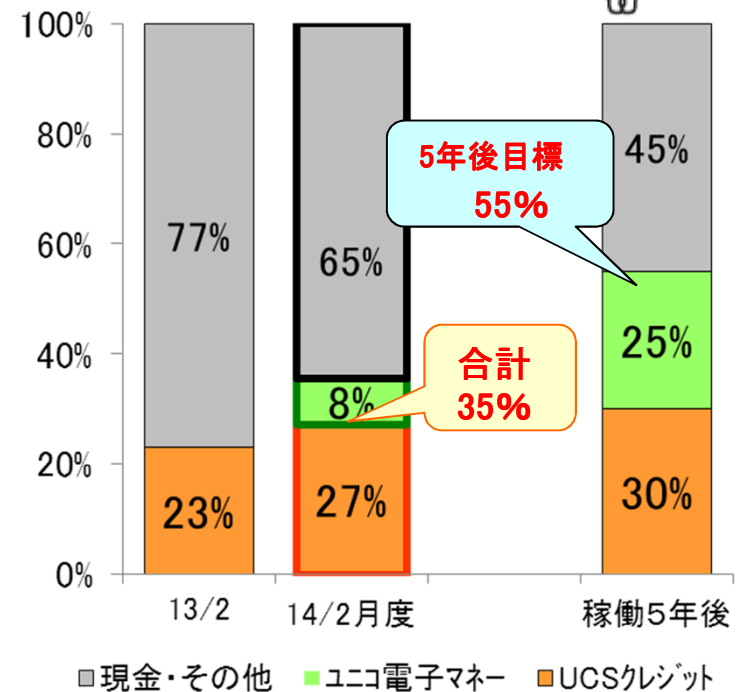
- 2013年11月にグループオリジナル電子マネー「ユニコ」の発行を開始。
- 高い稼働率で、順調に取扱高を拡大。

当期実績

【2013年11月21日～2014年2月28日】 (単位：百万円)

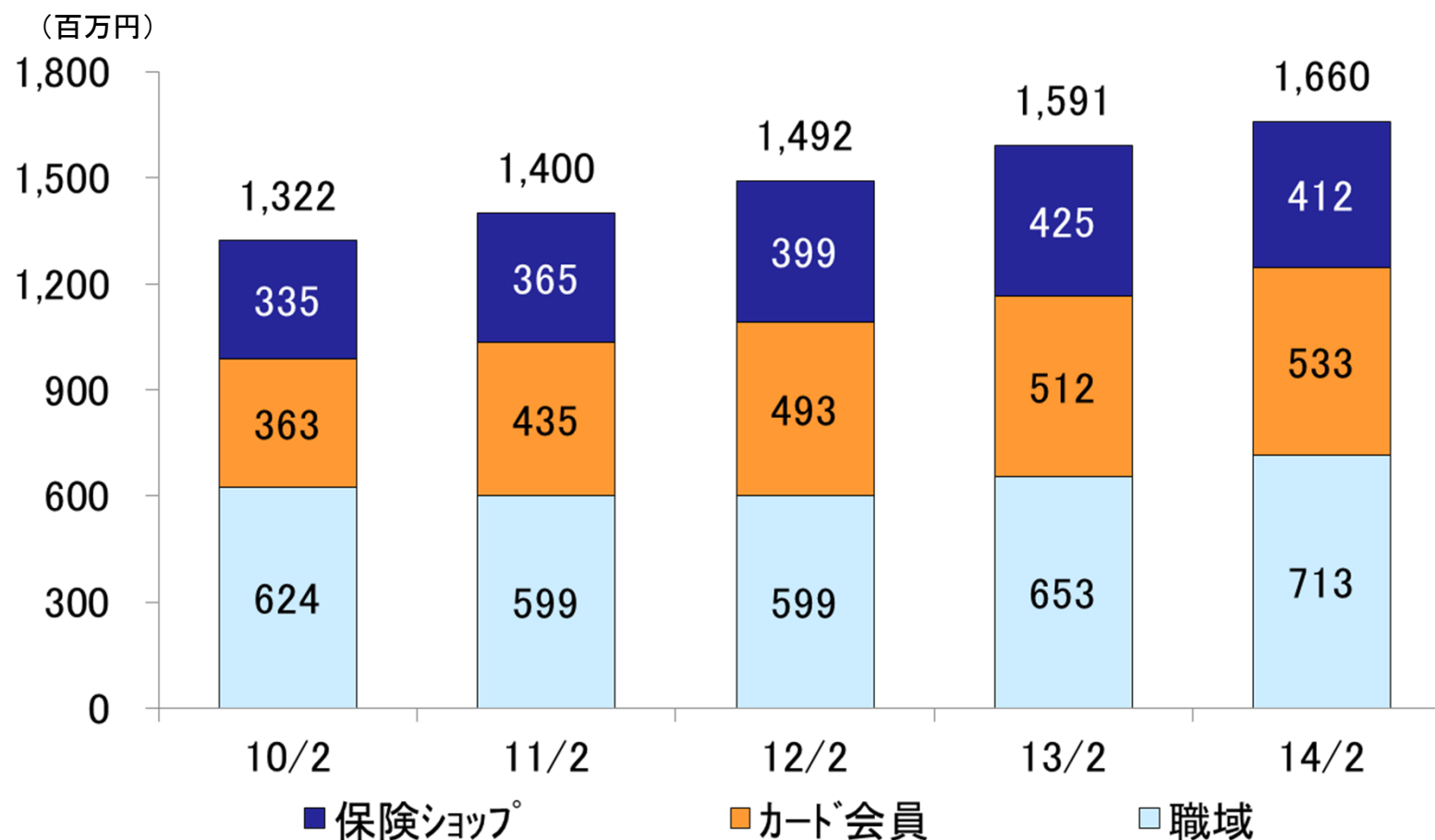
	計画	実績	計差
発行枚数(万枚)	90	39	△51
取扱高	9,087	15,476	+6,389
営業収益	176	202	+26
月間稼働率 (%)	30	74	+44
月間平均利用額 (円)	13,000	16,724	+3,724

ユニー決済比率



10. 保険代理業

- 2014年2月期も着実に営業収益が拡大(前期比 +4.4%)。
- 2013年4月の保険料率改定の影響で、保険ショップ部門が苦戦。



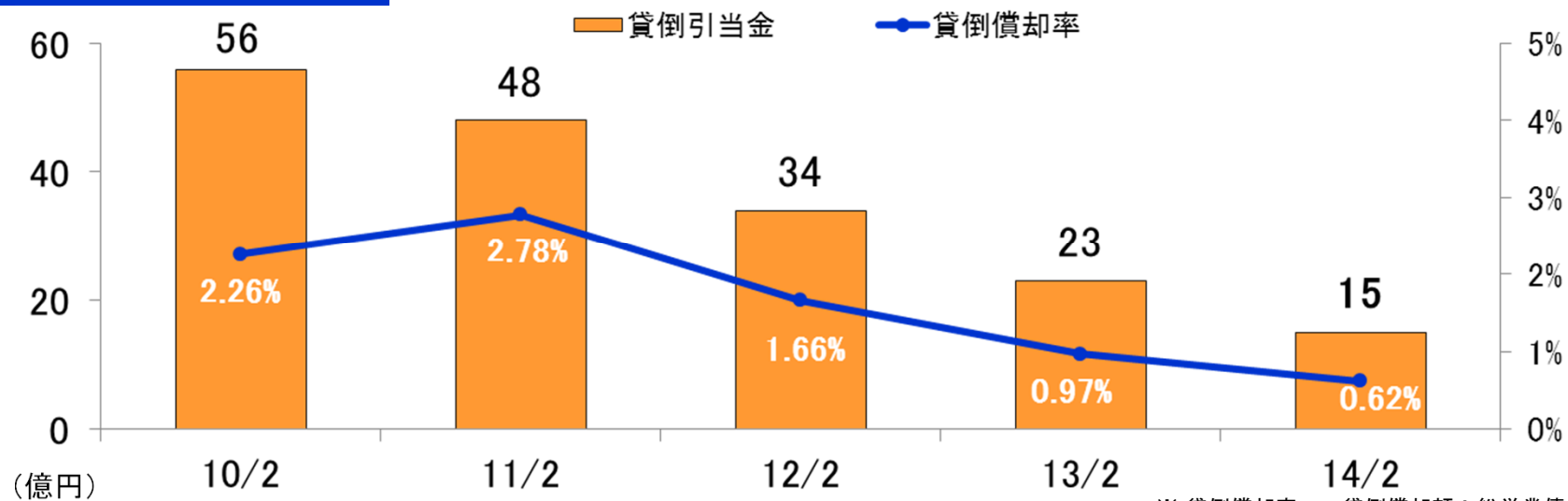
1 1. 貸倒関連

- 債権の健全化と融資残高の減少により、貸倒繰入額が削減。
- 延滞債権残高は、ピーク時(2010年2月期 77億円)の41%まで減少。

(金額:百万円)

	2012/2月期 (増減)		2013/2月期 (増減)		2014/2月期 (増減)	
引当金繰入額	257	△1,840	△65	△323	△162	△96
(内貸倒償却)	(1,681)	△1,151	(1,016)	△665	(693)	△322
延滞債権残高	5,531	△1,450	4,179	△1,352	3,141	△1,038

貸倒引当金の推移



※ 貸倒償却率 = 貸倒償却額 ÷ 総営業債権

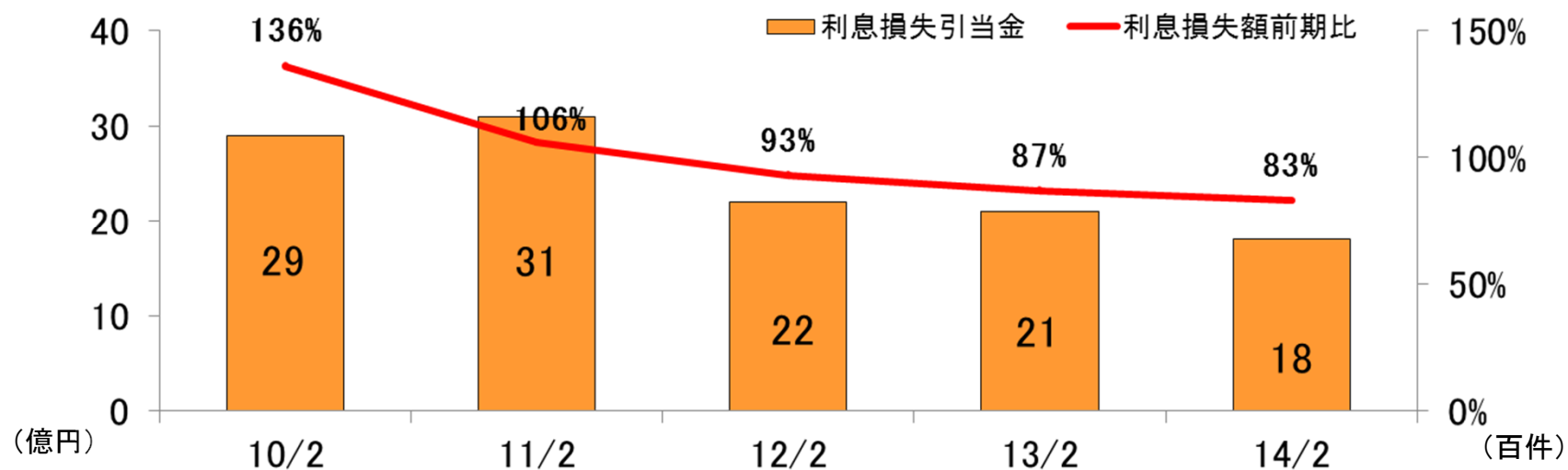
12. 利息損失関連

- 過払返還請求の減少に伴い、引当金繰入額が減少(前期比 41%)。

(金額:百万円)

	2012/2月期 (増減)		2013/2月期 (増減)		2014/2月期 (増減)	
引当金繰入額	650	△1,344	1,354	+703	806	△548
(内利息損失額)	(1,608)	△134	(1,392)	△216	(1,153)	△239

利息損失引当金の推移



13 . 資金調達

- CMS(キャッシュ・マネジメント・システム)の効果により、効率的な資金調達、および調達金利が低減。

(金額：億円)

	2013年2月期	2014年2月期	増減
短期借入(ユニグループHD)	232	423	+190
長期借入	226	117	△109
長期借入(ユニグループHD)	10	20	+10
債権流動化	95	10	△85
借入金合計	564	570	+6
平均調達金利(%)	0.970	0.529	△0.441
※支払利息	7	4	△3

14 . 配当

- 利益還元については安定的・継続的に行うことを基本としております。
- 2014年2月期の剰余金処分案として、普通配当を5円増配し、20円とする予定です。

	2013年2月期 実績	2014年2月期 予想
1株当たり配当金	15円	20円
1株当たり純利益	74.41円	108.16円
配当性向	20.2%	18.5%

Ⅱ 2015年2月期の取り組み

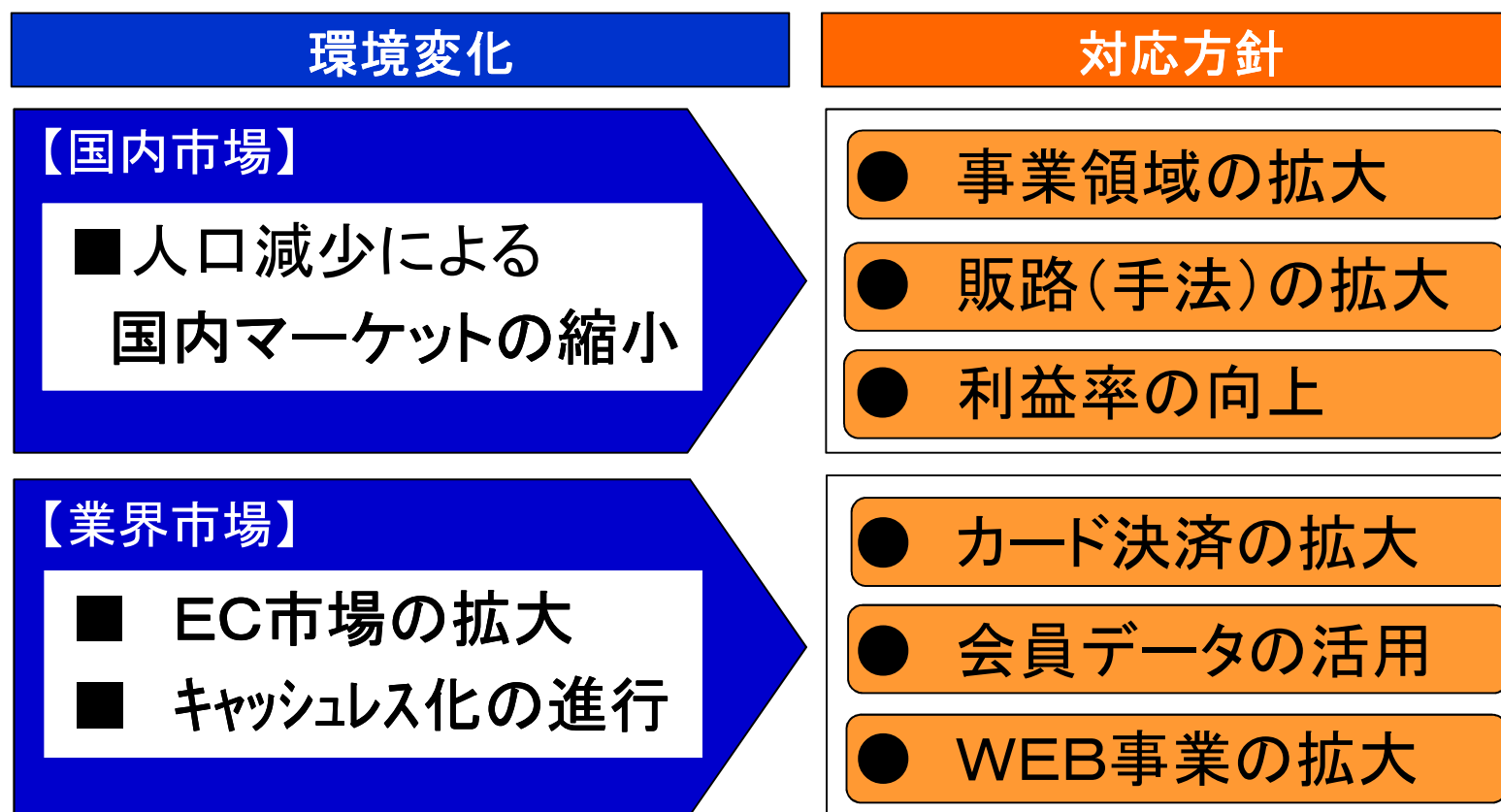
(2014/3/1～2015/2/28)

経営方針

「確固たる増収増益体質の確立」

1. 環境変化と対応方針

国内の環境変化に対応した事業展開によって、
長期の増収増益体質を構築する。

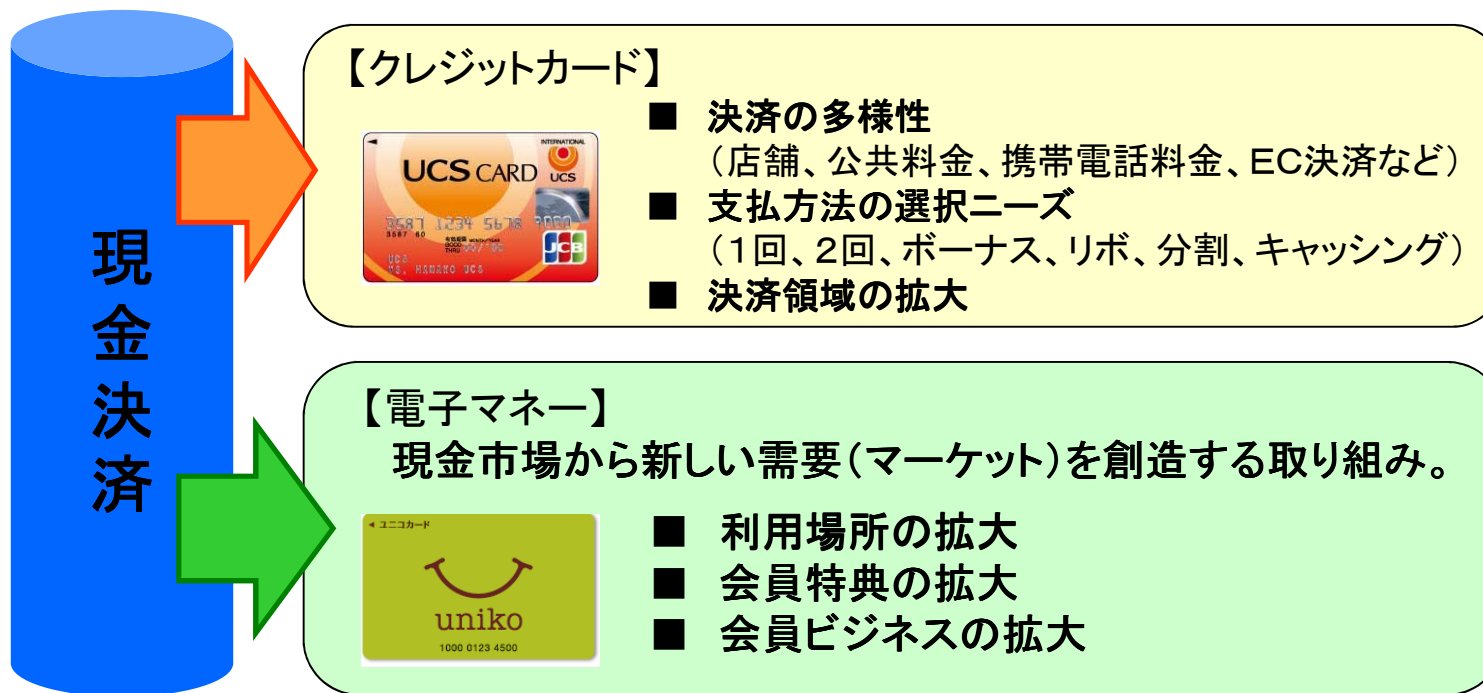


1 -2. 環境変化と対応方針 (カード事業)

ターゲット

「現金決済市場」

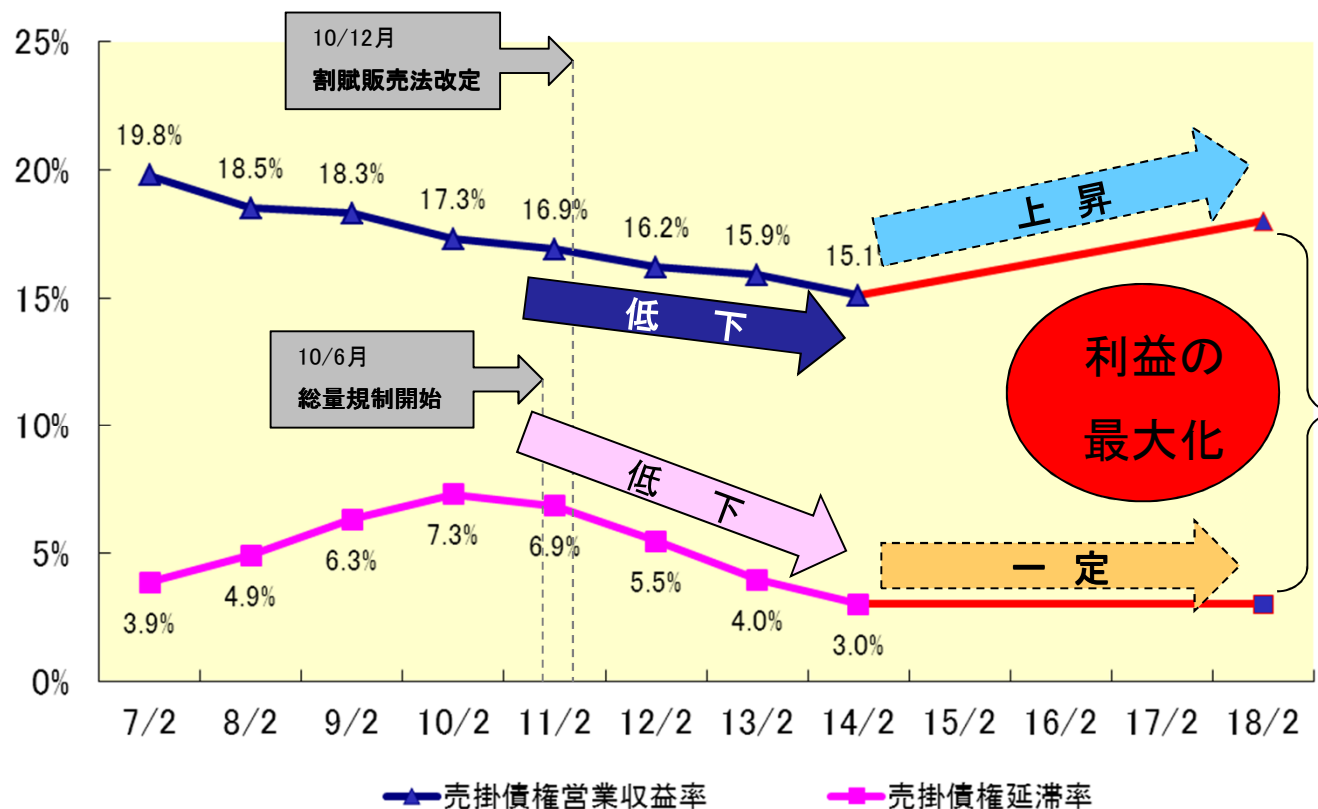
「クレジットカード」+「電子マネーカード」の両輪で現金決済市場を取り込む。



1-3. 環境変化と対応方針（残高系商品）

与信方針

収益とリスクのバランスで「利益の最大化」を図る。



1-4. 環境変化と対応方針（保険代理業）

ターゲット

グループ外マーケット

グループ外マーケットの強化・拡大を図り、
持続的な成長事業へ。

各マーケットの手法・強みを融合



【グループ内マーケット】

UGHD

販売手法：対面営業・社内メール
強み：社員中心の営業力



【会員マーケット】

販売手法：DM・テレマ・WEB・セミナー
強み：会員データの活用



【一般マーケット】
(ショップ)

販売手法：対面・予約
強み：店舗・提携先

1-5. 環境変化と対応方針（WEB事業）

強み

「会員データ」「決済機能」

EC市場は拡大、ITの進化でリアル店舗との融合も進む。
当社の強みを生かし、新たなビジネスに挑戦。



2. 2015年2月期 重点取組事項

クレジット・電子マネー 取扱高の拡大

- 取扱高 7,240億円(前年比 +25%)を計画

■ カード会員の拡大

97万件(クレジット + 電子マネー)

■ ユニコ 利用場面拡大

- ・サークルKサンクス(14年7月)開始
- ・ユニーテナント(14年7月)順次開始

ショッピングリボ・分割・融資 残高拡大に向けた基盤整備

■ ファイナンス部の新設

残高系商品の運営組織を一本化

■ 与信の適正化に向けた情報整備

会員情報の最新化、不足情報の取得

保険事業の営業強化

- 営業収益 17億円(前年比 +6.5%)を計画

■ 保険ショップ部門の強化

・店舗ごとの採算性向上

■ ハイブリッドテレマの実施

・テレマと対面募集の組み合わせ

WEBの活用推進

■ WEBを活用した営業支援

・クーポン配信、レコメンド広告機能活用

■ WEBインフラの整備

・PCサイト、スマホサイトの機能拡充

3. 2015年2月期 主要数値

(単位：億円)

		2014年2月期 実績	2015年2月期 予想	増減比 (%)
クレジット	取扱高	5,630	6,199	+10.1
	未 ^レ ・分割残高	214	212	△1.1
	営業収益	117	125	+6.5
融資	残高	135	121	△9.9
	営業収益	25	22	△12.3
保険	営業収益	16	17	+6.5
電子マネー	取扱高	154	1,042	+573.4
	営業収益	2	11	+467.6
費用	貸倒関連費用	6	8	+30.4

4. 2015年2月期業績予想

(単位:億円、%)

項目	2014年2月期 実績	2015年2月期 予想	前期比	
			増減額	増減比
営業収益 Operating revenues	172	187	+14	+8.4
営業利益 Operating income	33	35	+1	+5.2
経常利益 Ordinary income	33	35	+1	+5.1
当期純利益 Net income	20	21	+1	+5.7
経常利益率 Ordinary income ratio	19.2	18.7	△0.6	

■ 将来予測について

本資料で提供されている情報は、当社の過去と現在の事実だけでなく、将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらの予測・予想・計画は、発表した時点で入手できる情報に基づいたものであり、諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果が本資料に記載した予測・予想・計画と異なる可能性があり得ることを、ご承知おきください。

■ お問い合わせ先

住所 〒492-8686

愛知県稲沢市天池五反田町1番地

電話 0587-24-9028 FAX 0587-24-9046

<https://www.ucscard.co.jp/index.html>

ir@ucscard.co.jp

IR担当 / 経営政策部 浅井